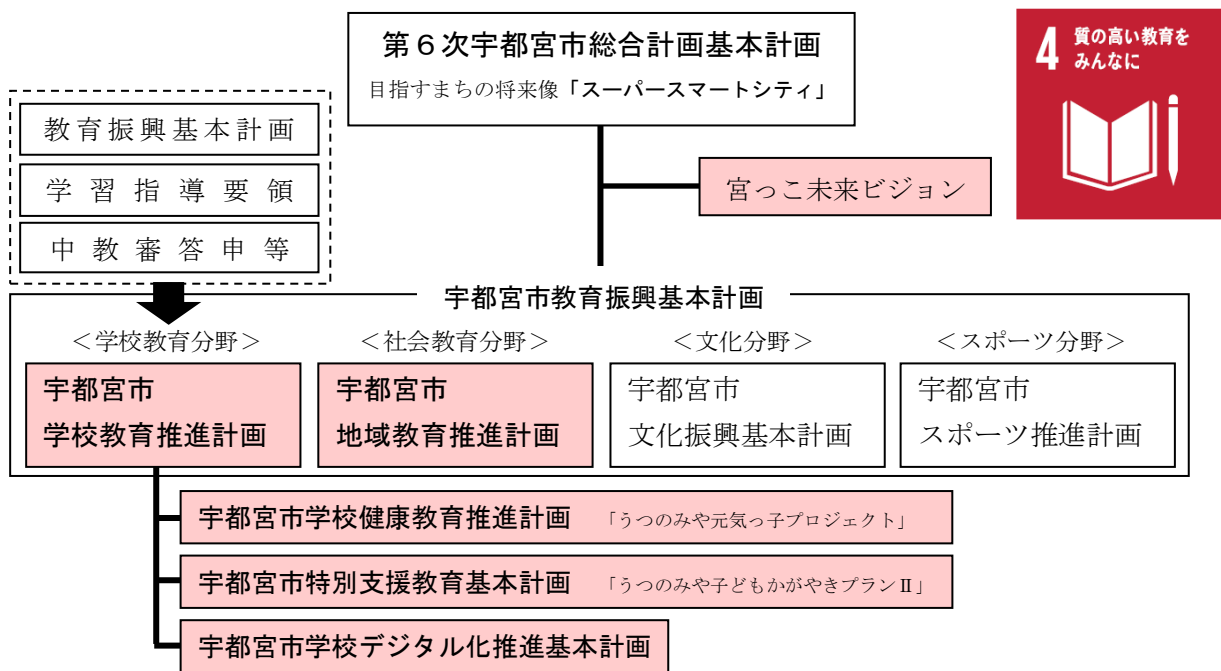


令和6年度 教育委員会基本方針

1 はじめに

本市では、「第6次宇都宮市総合計画改定基本計画」に「スーパースマートシティ¹」を「目指すまちの姿」として位置づけ、その基本方向のひとつである「子育て・教育の未来都市」の戦略事業として「未来を生き抜く力の育成」、「児童生徒の様々な状況に応じた指導・支援の推進」、「多様な学習機会の充実」を掲げているほか、「宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン」には、「支え合える社会づくり」、「誰もが円滑に移動できる交通環境づくり」、「デジタルリテラシーの向上」など、教育施策・事業に関連する方向性を、また、「宇都宮市SDGs未来都市計画²」においては、国際社会共通目標のひとつである「質の高い教育をみんなに」をゴールとし、「グローバル社会・情報社会の急速な進展に対応できる教育の推進」に取り組んでいくことを示しています。



1 「スーパースマートシティ」とは、100年先も発展し続けるまちの姿「NCC（ネットワーク型コンパクトシティ）」を土台に、「地域共生社会」、「地域経済循環社会」、「脱炭素社会」の3つの社会がつくられているものを指し、「人づくり」の取組や「デジタル」技術の活用によって発展する「夢や希望がかなうまち」です。

2 「SDGs (Sustainable Development Goals)」とは、「持続可能な開発目標」の意であり、2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むとともに、本市においては、「SDGs未来都市」として、全庁を挙げてSDGsを推進しています。



こうしたことから、教育委員会では、昨年度に引き続き「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」や「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」に基づいた施策・事業を展開していくとともに、「宮っ子『夢』教室³」や「SDGs 宮っ子まちづくりプロジェクト⁴」などこれからの時代に必要な資質・能力の育成、電子書籍の1人1台端末での利用促進、中学校における「WEBQU⁵」の実施や校内ネットワーク環境の整備など、デジタルを活用した教育活動の充実、別室登校支援体制の充実や特別支援教育における個に応じた指導・支援などに重点的に取り組み、児童生徒はもとより、あらゆる市民が心身ともに健康で、社会的にも良好な状態である「ウェルビーイング⁶の向上」に努め、本市の総合的な教育力を県内外に誇れる「教育で選ばれるまち」を目指してまいります。

また、これまで教育委員会が所管してきたスポーツ・文化行政については、「地域の活性化」や「にぎわいの創出」などの多面的価値をまちづくりの資源と融合させ、本市の新たな魅力を創出していくため、令和6年度より市長事務部局に新設する「魅力創造部」にて所管することとなりますが、引き続き教育委員会が連携・協力できる体制を確保し、スポーツ・文化を活用した「成長し続けるための基盤づくり」や「生涯にわたる学習機会の充実」に取り組んでまいります。

³ 「宮っ子『夢』教室」とは、市内企業等の協力を得ながら、小学校において高学年児童を対象に、将来への夢や希望、目標をもたせたり、様々な職業への関心を高めたりすることを目的とした講話や体験活動等を教育課程に位置付けて実施するものです。

⁴ 「SDGs 宮っ子まちづくりプロジェクト」とは、地域や人権、平和、環境等に関する課題解決のために、自分たちが貢献できる活動を見だし、実践を伴った学習活動を行うことで、持続可能な社会の実現に向けた担い手に必要となる資質・能力を育むものです。

⁵ 「WEBQU」とは、いじめ・不登校等の早期発見につなげるため、クラスでの満足度や学校生活への意欲について回答する心理検査「Q-U」(QUESTIONNAIRE-UTILITIES)に、ソーシャルスキル尺度の項目を加えた心理検査であり、1人1台端末を活用し、インターネット上でWEBで回答するものです。「Q-U」は図書文化社、「WEBQU」は、株式会社WEBQU教育サポートの登録商標です。

⁶ 「ウェルビーイング」とは、心身と社会的な健康を意味する概念。決まった訳し方はなく、満足した生活を送ることができている状態、幸福な状態、充実した状態などの多面的な幸せを表す言葉です。

2 基本方針と主な取組（新規・拡充事業）

(1) 「教育で選ばれるまち 宇都宮」の推進

本市教育の特色や強みを、市内小中学生の保護者や教職員などに効果的にPRし、市域内における本市教育行政への理解・関心の向上を図るとともに、「移住・定住施策」などの関連性が高い事業と連携しながら、戦略的に市外に向けた情報発信に取り組み、「教育で選ばれるまち」を目指します。

(2) 成長し続けるための基盤を培う

知・徳・体のバランスの取れた力や、生涯にわたって学び続ける意欲・態度を児童生徒に身に付けさせるための教育を推進します。

ア 確かな学力を育む教育の推進

予測困難で先行き不透明な社会においても、学校で学んだことを生かせるよう、学習の基盤となる資質・能力、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力などを身に付けさせ、望む未来を自ら描き、他者と協働しながら作り上げていく力を育みます。

- ・ STEAM教育の基盤となる資質・能力を育成するための「U-STEAM学習⁷⁾」の実施
- ・ 英語力判定機会の創出など「宇都宮市英語教育強化プラン」による英語教育の充実

イ 豊かな心を育む教育の推進

自立した人間として他者と共によりよく生きるために必要な自己肯定感や、目標に向かって挑戦するたくましさ、規範意識、思いやりなどを育むとともに、文化・芸術活動、自然体験活動、読書活動を通して、豊かな感性を育みます。

- ・ 学校教育分野と冒険活動センターの連携強化による体験活動の充実

ウ 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進

生涯を通じて健康で安全な生活を送ることができるよう、「宇都宮市学校健康教育推進計画」に基づき、健康教育に関する正しい知識や技能を身に付け、実践し、健康で安全な社会づくりに貢献することのできる態度の育成を図ります。

- ・ 「うつのみや元気っ子チャレンジ⁸⁾」を活用した体力向上策の強化

7 「U-STEAM学習」とは、高等学校以上で行うSTEAM教育（Science, Technology, Engineering, Mathematics, Art等を含めた教科横断的な教育）等の基盤となる資質・能力の育成を図るため、本市独自に実施する学習活動のことで、教科等横断的な学習や探究的な学習の充実を図るとともに、仮想現実（VR）、拡張現実（AR）及び3D都市モデル等の様々な先進技術を取り入れた学習活動を行います。なお、U-STEAM学習の「U」は、Utsunomiyaの頭文字を示しています。

8 「うつのみや元気っ子チャレンジ」とは、学級やグループ、個人で、ボール投げや縄跳び、ランニング、ストレッチなど様々な運動に挑戦するもので、運動する楽しさや達成感を味わいながら、体力の向上を図る取組です。

エ 将来への希望と協働する力を育む教育の推進

社会的・職業的自立に向け必要な能力や態度を育て、望ましい勤労観・職業観の形成を図る「宮・未来キャリア教育⁹」を一層充実させるとともに、将来、社会に貢献できるよう、多様な人々と協働して課題解決するための力を育てます。

- ・ 市内企業等の協力による「宮っ子『夢』教室」など、「宮・未来キャリア教育」の充実
- ・ 中学生が学校や地域の未来などについて地域住民と議論する「地域未来会議」の充実

(3) 児童生徒に未来を生き抜く力を養う

児童生徒が、これからの時代の担い手として、自律して情報を使っていくために、また、異なる文化をもつ人々と手を携えて生きていくために必要な取組を総合的に推進します。

- ・ 小学校版「宇都宮学」副読本のデジタル化
- ・ 中学校における「SDGs 宮っ子まちづくりプロジェクト」の試行的導入

(4) 生涯の学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育む

市民一人一人が、自らのライフスタイルや生活環境等に合わせた方法で、やりがいや楽しさを感じながら、自己実現や生活の向上、地域社会の発展に必要な取組を総合的に推進します。

- ・ 「うつのみやこども賞¹⁰」40周年記念事業の実施
- ・ 学び直しを支援するリカレント教育の実施

(5) 児童生徒の様々な状況に応じた指導・支援を行う

ア いじめ・不登校対策の充実

魅力にあふれ安心して過ごせる学校を目指し、きめ細かな学級経営や課題の早期発見・早期対応などに取り組むとともに、教職員の指導力向上や組織的な対応力の強化を図り、学校と地域・関係機関等が連携しながら、児童生徒一人一人の状況に応じた支援の充実に努めます。

- ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関などそれぞれの専門性を生かした分担や連携の徹底と、多角的な視点による組織的対応力の強化
- ・ 中学校全学年において、1人1台端末を活用した心理検査（WEBQU）の年2回の実施

⁹ 「宮・未来キャリア教育」とは、義務教育9年間を通じた系統的なカリキュラムや地域の教育力を生かした体験活動の実施などにより、社会的・職業的自立に向け必要な資質・能力を育て、望ましい勤労観・職業観の形成を目指すものです。

¹⁰ 「うつのみやこども賞」とは、一般公募で選ばれた市内小学校5・6年生の選定委員が、友だちに一番薦めたい本を日本人作家が書いた創作児童文学作品の中から選び、その作家に賞を授与する取組です。本市では、受賞作品等を活用し、子どもの読書活動を推進しています。

- ・ Q-U又はWEBQUの結果や個別の教育相談，欠席状況共有シート等の活用による不登校の兆しの早期発見・早期対応
- ・ 別室登校支援体制の充実のためのメンタルサポーターの配置日数の拡充に向けたモデル校5校の設置

イ 特別な支援が必要な児童生徒への教育の推進

特別な支援が必要な児童生徒一人一人が自らの力を最大限に発揮し，自信と意欲をもって学校生活を送れるよう，特別支援教育等の推進に取り組みます。

- ・ 適切な人的配置（医療的ケア支援員等）による支援体制の充実
- ・ かがやきルームにおける地域学校園内の連携した支援体制の構築や，通級指導教室のサテライト校¹¹の設置など，個に応じた指導の充実

(6) 誰もが学びやすい環境の整備

児童生徒の学力保障と教育の機会均等を図るため，経済的な理由により小中学校への就学はもとより子どもの家の利用に支障がある児童生徒を支援するとともに，高等学校・大学・大学院等で学びたい意欲をもつ者への支援を充実し，学びのセーフティネットを構築します。

- ・ 誰もが借りやすく，返しやすい制度となるよう奨学金制度の見直し・充実

(7) 教職員が生き生きと勤務できる環境を整え，信頼される教職員を育てる

ア 教職員の資質・能力の向上

教職員が自己研鑽に努め，高い指導力と専門性を身に付けるとともに，教職員一人一人に応じた資質・能力の向上を図るための体系的な研修を実施するなど，授業力や学級経営力の向上を図る取組を進めます。

- ・ 不登校対応力や特別支援教育の視点を踏まえた指導力の向上など，今日的課題に対応した研修の実施

イ 学校における働き方改革の推進

児童生徒と向き合う時間や自らの授業力向上に向けた時間を確保するとともに，教職員が日々の生活や教職人生を豊かにできるよう，「学校における働き方改革アクションプラン」を継続し，業務改善と勤務時間を意識した働き方を一体的に推進します。

- ・ 校内における電子決裁システムの導入など，業務効率化の推進
- ・ コーディネーターの配置による，学校の働き方改革を踏まえた「休日の部活動の地域移行」
- ・ 副校長マネジメント支援員の配置による，校務運営の円滑化

¹¹ 「通級指導教室のサテライト校」とは，令和5年3月の文部科学省報告「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒の支援に係る方策について」を踏まえ，他校へ通級する児童生徒の保護者の送迎等の負担を軽減するとともに，通級指導を必要とする児童生徒が個に応じた指導を適切に受けられるよう，通級指導担当者が出向いて指導を行う学校のことです。

(8) 地域とともにある学校づくりを進める

心豊かでたくましい宮っ子を育むため、学校や家庭、幼児教育施設、企業、地域などが一体となり連携・協働することにより、地域とともにある学校づくりを進めます。

- ・ コミュニティ・スクールの試行的導入事業による「地域とともにある学校づくり」の一層の充実
- ・ 幼小連携合同研修会の実施や事例集の作成による幼小連携の推進

(9) 地域ぐるみによる教育活動を充実する

家庭や地域の教育力向上を図るため、家庭での読書習慣を育む取組や、保護者への学びを促進する「親学」と個別具体的に家庭にアプローチしていく家庭教育支援、地域全体で連携・協働しながら子どもの成長を支える教育活動の充実に取り組めます。

- ・ 宮っ子ステーションにおける「子育て支援事業」の実施個所の拡充

(10) 生涯にわたる多様な学習機会を充実する

人々が豊かな人生を送るために必要な知識や技術を主体的に学び続けることができるよう、身近な場所や自らの生活環境にあわせて取り組むことができる環境整備や学習機会の提供に取り組めます。

- ・ 電子書籍サービスの充実と活用促進
- ・ マルチメディアデイジーなど障がい者の読書を支える読書バリアフリー事業の拡充

(11) 新しい時代にふさわしい教育環境を整える

ア 安全で快適な学校施設等整備の推進

児童生徒が安全・快適に学校生活を送れるよう、校舎・体育館の長寿命化改修やトイレ洋式化など、学校教育施設の計画的な整備に取り組めます。

- ・ 校舎空調設備の更新・整備（普通教室空調設備の更新，小学校特別教室への空調設備の整備）
- ・ 学校給食施設の整備（床改修）

イ 学校のデジタル化推進

「宇都宮市学校デジタル化推進基本計画」に基づき、GIGAスクール構想や学校のデジタル環境の整備など、学校DX¹²を推進するため、ICT支援をはじめとする学校現場を支える組織的な支援体制の構築や学校内の通信ネットワーク回線の増強に取り組み、児童生徒の個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や教職員の働き方改革を進めます。

¹² 「DX」とは、AI、IoT、ビッグデータなどのデジタル技術を用いて、業務フローの改善や新たなビジネスモデルの創出だけでなく、レガシーシステムからの脱却や企業風土の変革を実現させることを意味します。デジタルトランスフォーメーションは「DT」ではなく「DX」と略されますが、その理由はトランスフォーメーションの接続語「Trans」には「横切って」等の意味があり、「cross=X（横断）」と同義であることから、「X」と略されるためです。

- ・ 校務系・学習系ネットワークや端末の統合による教育デジタル環境の整備
- ・ 機能を拡充した統合型校務支援システムの活用による業務の効率化

(12) スポーツ・文化行政分野との連携体制の構築

スポーツ・文化は、人々の自己肯定感や、目標に向かって挑戦するたくましさ、規範意識、思いやりなどを育むとともに、人々に楽しさや感動を与え、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらし人生を豊かにするものであり、「児童生徒が成長し続けるための基盤づくり」などの教育施策・事業にも深く関連することから、市長事務部局への移管後も引き続きスポーツ・文化行政分野と連携・協力していきます。

- ・ スポーツ・文化行政担当職員による教育委員会併任